



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2025年(令和7年)8月25日号 No.1999

目次

| | |
|---------------------------------|----|
| ■ 2025年上半期のロシアの新車販売最新動向 | 1 |
| ■ 『ロシアNIS調査月報』2025年9-10月号のご案内 | 7 |
| ■ 統計速報 | 8 |
| 2025年1～3月のロシアの主要経済指標(更新)／8 | |
| ■ エトセトラ | 12 |
| アルメニア代表団によるプレゼンテーション開催のご案内／12 | |
| 日本ウズベキスタン・オンライン対話開催のご案内／12 | |
| 第12回日本アゼルバイジャン経済合同会議開催のご案内／12 | |
| ■ トピックス | 13 |
| デジタルナレッジ、キルギスで大学設立 中央アジアで2校目／13 | |
| 米ロ首脳会談 侵攻後初も進展はなし／14 | |
| JINZ、ウランバートルに1号店を開店／15 | |
| ■ 事務所移転のお知らせ | 15 |

2025年上半期のロシアの新車販売最新動向

はじめに

ロシアの自動車市場の調査会社、AVTOSTATが2025年1～6月のロシアの乗用車販売データを発表したので、本号では早速このデータを図表にまとめてお届けする。

概況

2025年1～6月にロシア国内で販売された新車の台数は53万台あまりだった。ロシア経済の減速に加え、高金利で消費者の間で買い控えの動きが広がったこと、昨年の廃車税率引き上げに伴う、駆け込み需要の反動減が出たことなどから、前年同期と比べて25.3%の大幅な落ち込みとなった。

新車販売は2021年の152万台から侵攻が始まった2022年は半分以下の63万台に落ち込んだ。しかし、2023年には106万台、2024年には157万台まで回復していた。

昨年は、西側諸国の制裁の影響が緩和される一方、撤退した西側メーカーに代わって中国の自動車メーカーが販売を本格化させたことにより、供給不安が解消し、販売台数は軍事侵攻前の水準まで回復した。経済成長率が4.3%伸びるなど、ロシア経済の力強い成長が回復の追い風となった。

しかし、2025年に入ると状況は一変した。消費者の間で買い控えの動きが広がるなどロシア経済の減速が鮮明となり、新車販売に急ブレーキがかかった。2025年4～6月の経済成長率は1.1%のプラスにとどまり、前年同期の4.0%から大幅に減速した。